

新城市校務 DX 計画

1 現状について

文部科学省が取りまとめている『GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト』に基づく自己点検の結果（学校向け）」について以下に示す。

No.	チェックリスト項目	基準	本市結果 (%)	全国平均 (%)
1	児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計していますか。	半分以上していると回答した学校の割合	100.0	75.5
2	業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡事項について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付ける体制を整えていますか。	整えていると回答した学校の割合	55.6	27.9
3	学校から保護者へ発信するお便り・配布物をクラウドサービスを用いて一斉配信していますか。	半分以上していると回答した学校の割合	72.3	48.9
4	保護者から学校への提出資料をクラウドサービスを用い、受け付けていますか。	半分以上していると回答した学校の割合	22.2	13.6
5	保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	半分以上していると回答した学校の割合	72.3	60.6
6	保護者との日程調整をクラウドサービスを用いて行っていますか。	半分以上していると回答した学校の割合	5.6	12.7
7	学校説明会や保護者面談などにオンライン形式を取り入れていますか。	半分以上取り入れていると回答した学校の割合	0	4.7
8	学校徴収金について、現金徴収ではなく、口座振替、インターネットバンキング等を活用して徴収金の徴収を行っていますか。	半分以上していると回答した学校の割合	100.0	76.8
9	児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、家庭で利用できるよう	毎日持ち帰っていると回答した学校	33.3	39.1

	にしていますか。	の割合		
10	児童生徒への各種連絡をクラウドサービスを用いて配信していますか。	半分以上していると回答した学校の割合	11.1	28.2
11	児童生徒への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	半分以上していると回答した学校の割合	55.6	54.0
12	宿題（学期中のもの）をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか。	半分以上していると回答した学校の割合	11.1	18.0
13	宿題（長期休暇中）をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか。	半分以上していると回答した学校の割合	5.6	17.1
14	クラウドサービスを活用し、授業中の小テスト等に CBT を取り入れていますか。	取り入れていると回答した学校の割合	27.8	36.5
15	職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化していますか。	半分以上していると回答した学校の割合	94.5	76.5
16	職員会議等における検討事項について、クラウドサービスを用いて事前に情報共有し、あらかじめ意見を求めていますか。	半分以上していると回答した学校の割合	72.2	29.3
17	職員会議等をハイブリッド（対面・オンライン）で実施していますか。	半分以上していると回答した学校の割合	0	3.1
18	教職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れていますか。	取り入れていると回答した学校の割合	88.9	77.0
19	学校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等について、クラウドサービスを使って共有し、いつでも確認できるようにしていますか。	半分以上していると回答した学校の割合	55.5	31.8
20	教職員が作成した教材等をクラウド上で共有し活用していますか。	半分以上していると回答した学校の割合	38.9	39.7
21	授業研究会や校内研修等をハイブリッド	半分以上している	5.6	7.2

	(対面・オンライン) で実施していますか。	と回答した学校の割合		
22	校内研修について、オンデマンド視聴を取り入れていますか。	取り入れていると回答した学校の割合	22.2	45.9
23	授業研究会や校内研修等での協議にクラウドサービスを用いていますか。	取り入れていると回答した学校の割合	22.2	45.9
24	教職員への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	半分以上していると回答した学校の割合	50.0	66.5
25	教職員から学校へ提出する事務手続き資料をクラウドサービスを用い、受け付けていますか。	半分以上受け付けていると回答した学校の割合	11.1	24.1
26	学校から教職員に紙で提出を求めている書類はありますか。	ないと回答した学校の割合	0	4.7
27	長期休暇期間(夏休み等)の教職員の動静調査をクラウドサービスを用いて実施・管理していますか。	用いていると回答した学校の割合	33.3	36.1
28	教職員は校務用の個人メールアドレスが付与され、それを業務で利用していますか。	付与されていると回答した学校の割合	100	82.2
29	「FAX の利用が例外的に必要と考えられる業務」以外の日常の業務に FAX を使用していますか。	使用していないと回答した学校の割合	16.7	22.9
30	業務で押印が必要な書類はありますか。	ないと回答した学校の割合	16.7	7.3
31	校務支援システムへ新入学児童生徒の名簿情報を登録する際の主な入力方法を教えてください。			
32	1 人 1 台端末のパスワードについて、教職員が把握し一括で管理するのではなく、児童生徒に管理を任せていますか。	児童生徒に任せていると回答した学校の割合	27.8	40.5
33	学級・学校経営に有効な教育データ等が、必要な職位に応じてアクセス権限が設定されるとともに、活用しやすいように整理さ	できると回答した学校の割合	88.9	83.4

	れ、閲覧できますか。			
34	「初等中等教育段階における生成 AI の利用に関する暫定的なガイドライン」に基づき生成 AI を校務で活用していますか。	半分以上している と回答した学校の 割合	0	2.6

2 今後の計画について

上記の現状を踏まえ、以下の取り組みを進めていく。

◇ クラウド環境やWeb会議システム、オンデマンド視聴等を柔軟に活用した教員間の情報共有や研修の充実

効率的かつ効果的に業務が進められるよう、必要な情報を探しやすく活用しやすいクラウド環境を整える。また、Web会議システムやオンデマンド視聴を取り入れた研修等をより効果的な方法で実施し、教職員の力量向上を図る。

◇ 児童生徒の宿題や調査、連絡等に関するクラウドサービスやデジタルドリル教材の整備

CBTを取り入れた小テスト、デジタルドリル教材の充実を目指す。また、採点支援システムの導入や校務支援システムとの連携を図り、教職員の負担軽減につなげるようにする。

◇ 教員と保護者間の連絡のデジタル化

多くの学校で家庭への配信ツールが導入され、学校からの一方的なメール配信だけでなく、家庭からの欠席連絡の受信や管理ができています。今後は、クラウドの活用を推進し、よりよい運用を進めていく。

◇ FAX 及び押印の見直し

学校と保護者、教育委員会や外部業者等との文書のやりとりをクラウド化・ペーパーレス化できるよう、署名・押印が必要な文書の見直し、改善を図る。

◇ 次世代の校務システムの導入に向けた検討

校務支援システムへの名簿情報等の不必要な手入力作業を削減するなど、望ましい校務の在り方を模索する。また、校務系システムと学習系システムが分離されている現状での課題を整理し、次世代の校務システムの導入の検討を進めていく。